

景気動向調査 報告書

2025 年 7 – 9 月期実績
館山商工会議所

【目 次】

【目 次】.....	2
I 調査方法と回答企業の概要	3
II 調査結果の概要について.....	4
III 製造業の景況.....	6
IV 建設業の景況.....	8
V 小売業の景況.....	10
VI 卸売業の景況.....	12
VII 飲食業の景況.....	14
VIII サービス業の景況.....	16
IX 観光業の景況	18
まとめ	20

I 調査方法と回答企業の概要

1 調査方法

この景気動向調査は館山市の企業を対象として、2025年10月に実施したものである。調査方法はFAXによる無記名の調査票(アンケート)回収方式である。

今回の調査票発送数、回答数、回答率は以下の通りである。

<調査回収状況>

業種	発送数(件)	回答数(件)	回答率	(参考)前回回答率
工業	16	9	56.3%	62.5%
製造業	7	6	85.7%	71.4%
建設業	9	3	33.3%	55.6%
商業	44	28	63.6%	63.6%
小売業	20	17	85.0%	75.0%
卸売業	4	3	75.0%	100.0%
飲食業	4	1	25.0%	25.0%
サービス業	12	5	41.7%	66.7%
観光業	4	2	50.0%	0.0%
合計	60	37	61.7%	63.3%

2 DIの意味【設問1】

景況を表すDIとはデフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、良くなったとする企業数(A)から、悪くなったとする企業数(B)を差し引いた数の全体に対する比率である。

工業関連企業（製造業・建設業）

商業関連企業（小売業・卸売業・飲食業・サービス業・観光業）

	A		B	
売上高	①増えた	②横ばい	③減った	
採算(経常利益)	①増えた	②横ばい	③減った	
引き合い	①増えた	②横ばい	③下がった	
受注・製品単価	①上がった	②変わらない	③減った	
在庫(製品)	①過剰になった	②変わらない	③不足になった	
資金繰り	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	
雇用者数	①増やした	②変わらない	③縮小した	
設備投資	①増やした	②変わらない	③縮小した	
今後の見通し(売上)	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	

	A		B	
売上高	①増えた	②横ばい	③減った	
採算(経常利益)	①増えた	②横ばい	③減った	
客数	①増えた	②横ばい	③減った	
客単価	①増えた	②横ばい	③減った	
経費	①減った	②横ばい	③増えた	
資金繰り	①楽になった	②変わらない	③苦しくなった	
雇用者数	①増やした	②変わらない	③縮小した	
金融機関の融資状況	①容易になった	②変わらない	③困難になった	
今後の見通し(売上)	①良くなる	②変わらない	③悪くなる	

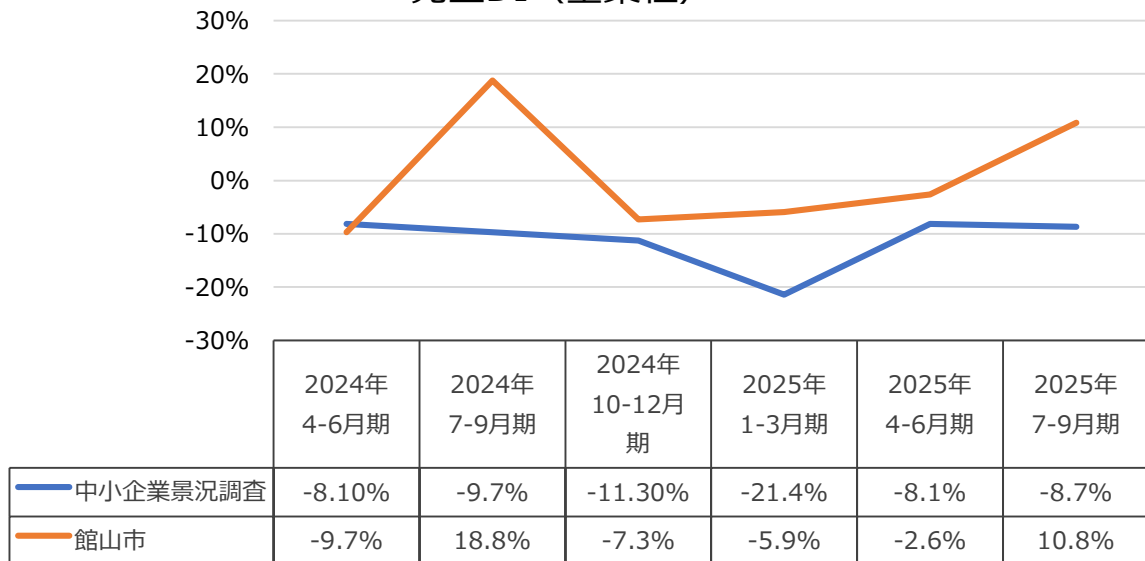
II 調査結果の概要について

1 売上高の状況

(1)全国および千葉県との比較

館山市の全業種の売上 DI は前回調査より 13.4 ポイント上昇し、10.8%となった。中小企業景況調査（中小機構・全国調査）（▲8.7%）と比べると 19.5 ポイント高い。

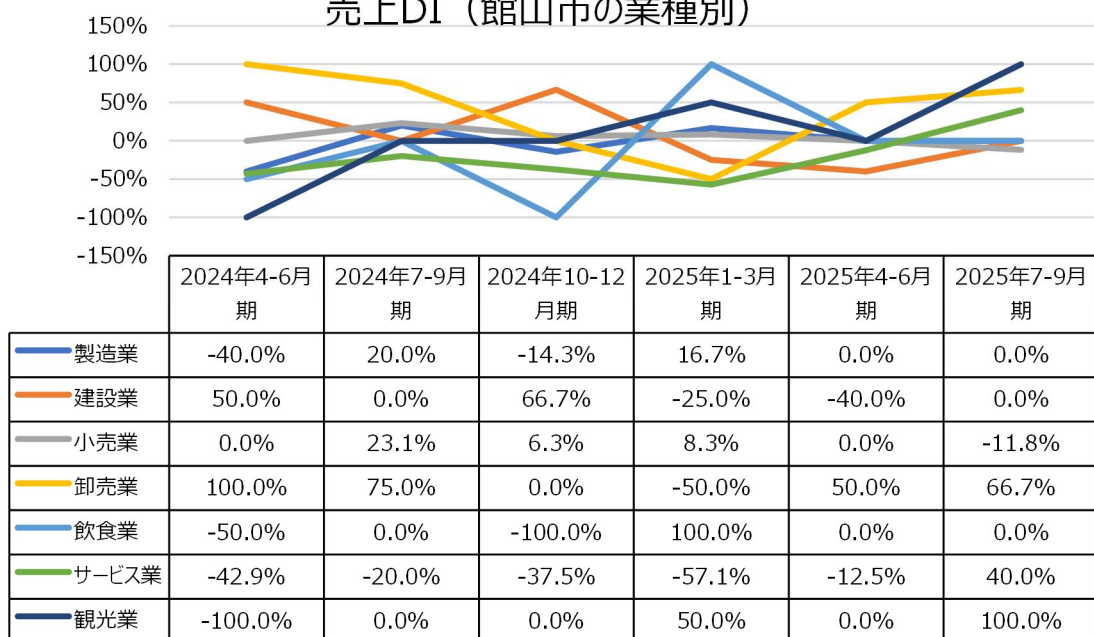
売上DI（全業種）



(2)業種別

館山市の業種別の売上 DI は、工業関連企業においては、製造業が変化なし、建設業が 40.0 ポイントの上昇となった。商業関連企業においては、サービス業が 52.5 ポイント上昇、観光業も 100.0 ポイントの上昇となっている。

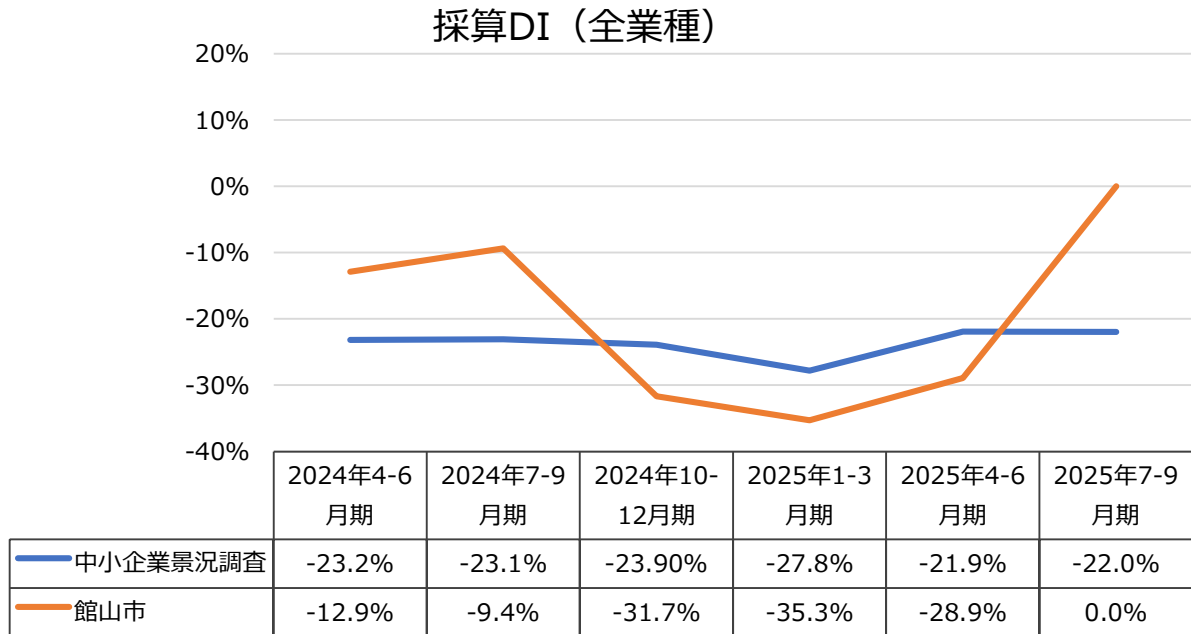
売上DI（館山市の業種別）



2 採算の状況

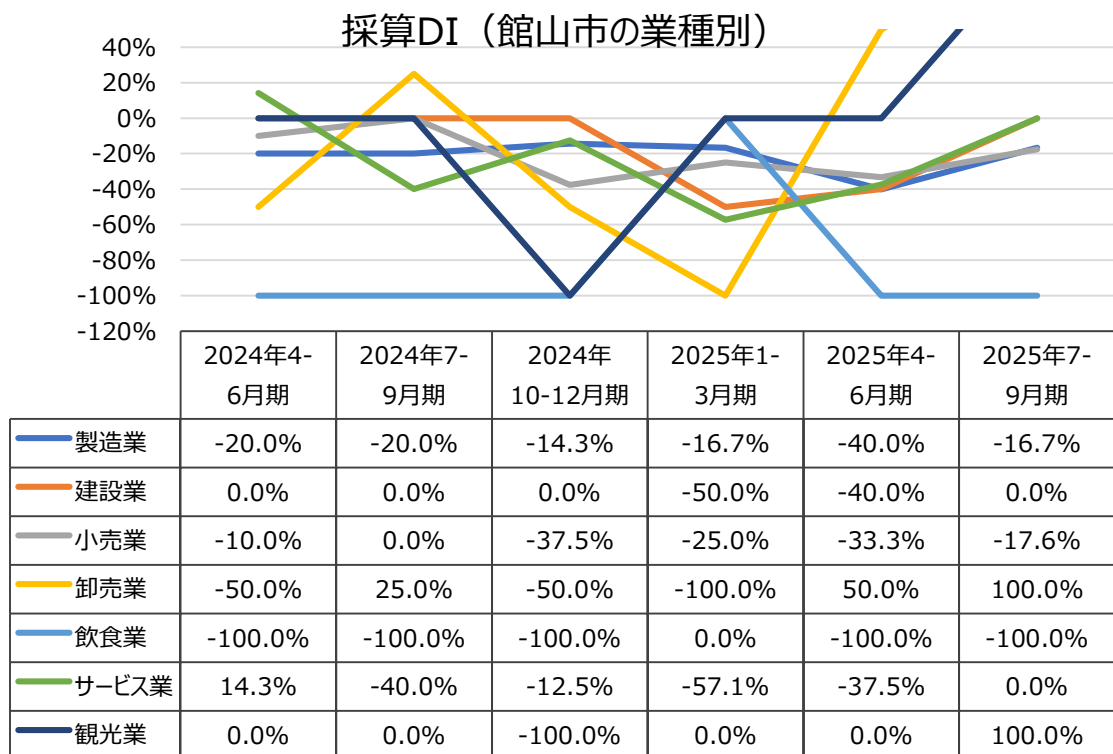
(1)全国および千葉県との比較

館山市の全業種の採算 DI は前回調査より 28.9 ポイント上昇となった。中小企業景況調査（中小機構・全国調査）（▲22.0%）と比べると 22.0 ポイント高くなっている。



(2)業種別

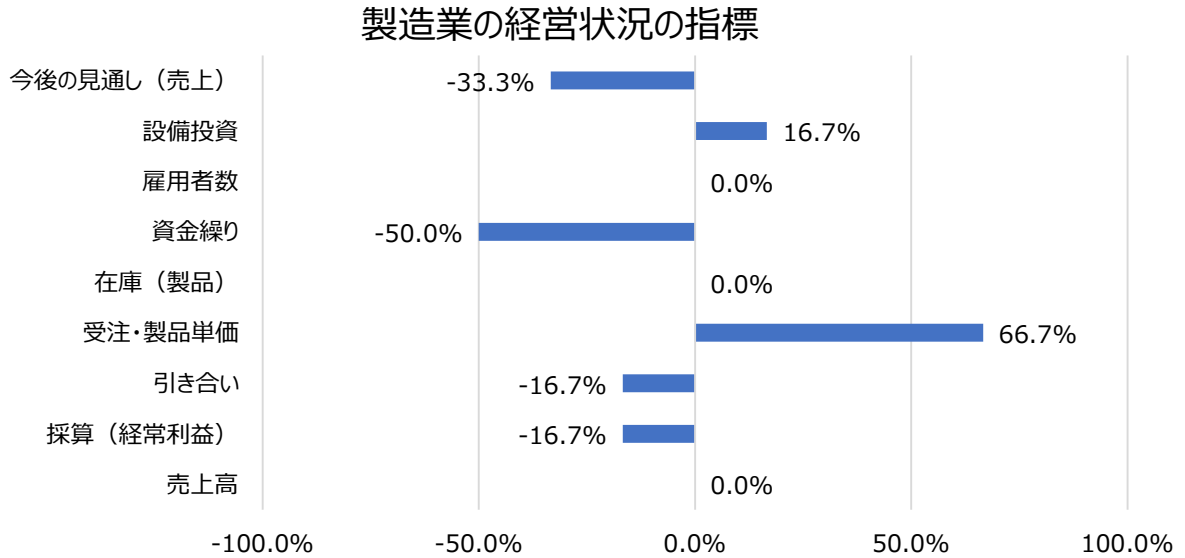
館山市の業種別の採算 DI は、工業関連企業においては、製造業は 23.3 ポイント上昇、建設業も 40.0 ポイント上昇した。商業関連企業においては、小売業、卸売業、サービス業、観光業が上昇となり、特に卸売業は 50.0 ポイント、観光業は 100.0 ポイントと大きく上昇した。なお、飲食業は横ばいとなっている。



III 製造業の景況

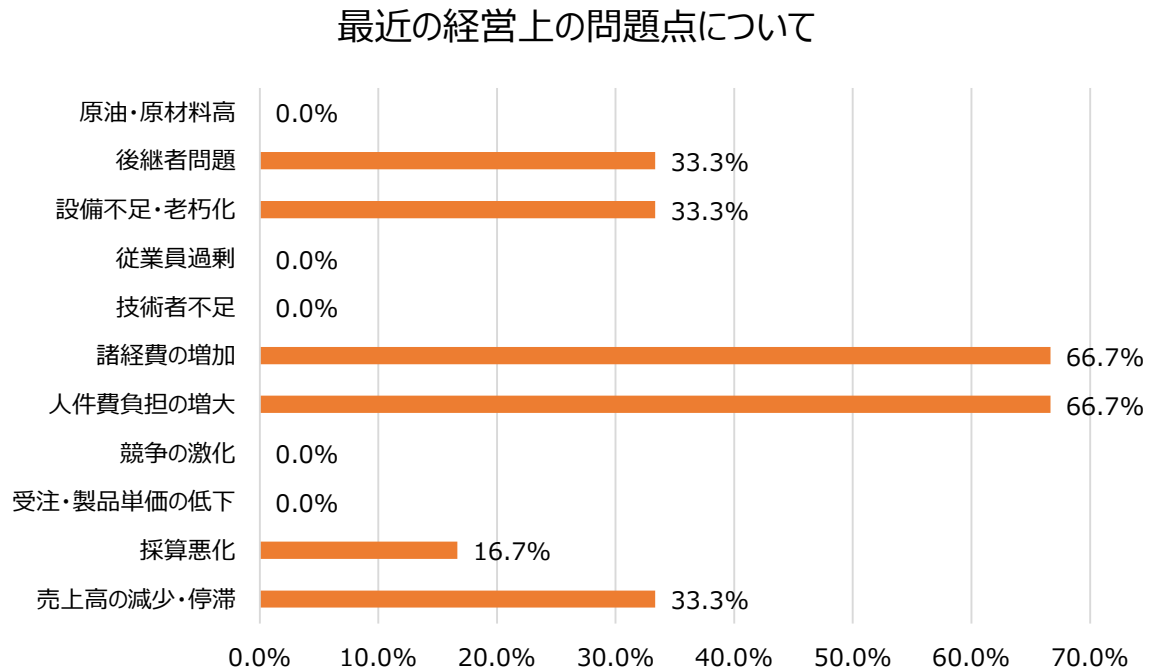
1 製造業の経営状況の指標

各種 DI をみると、「受注・製品単価」の DI は、今回調査は 66.7%となった。「雇用者数」「在庫（製品）」「売上高」の DI は 0.0%となっている。また、「今後の見通し（売上）」は▲33.3%、「資金繰り」は▲50.0%、「引き合い」▲16.7%、「採算（経常利益）」▲16.7%と、それぞれマイナスとなっている。



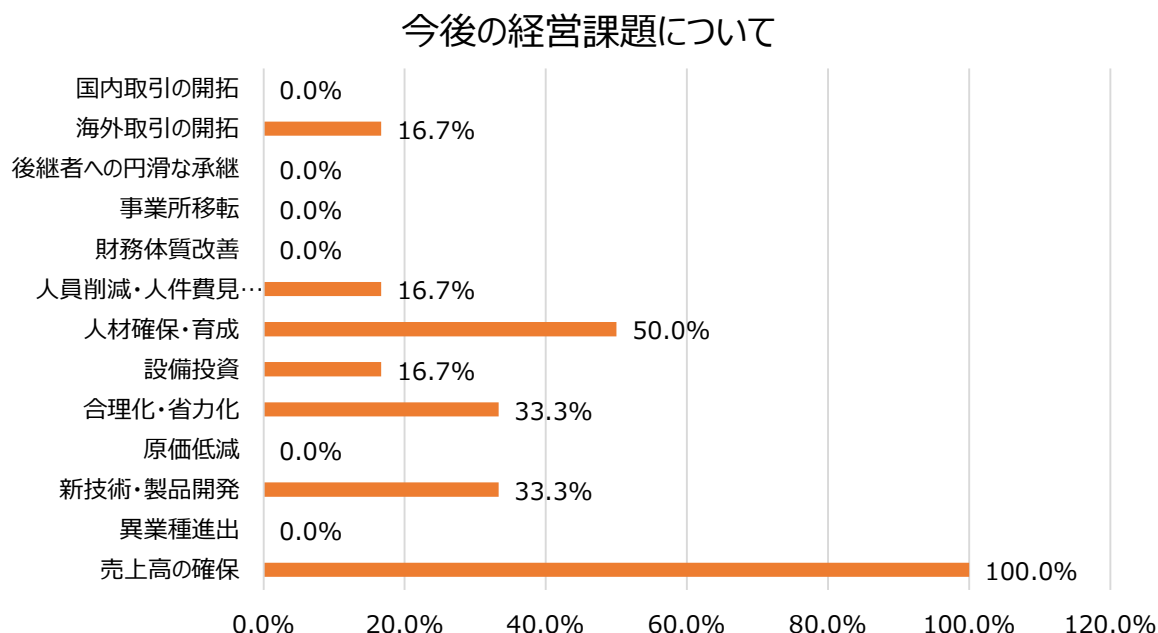
2 製造業の最近の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「諸経費の増加」「人件費負担の増大」が 66.7%と最も高く、「後継者問題」「設備不足・老朽化」「売上高の減少・停滞」が 33.3%、「採算悪化」が 16.7%と続いている。



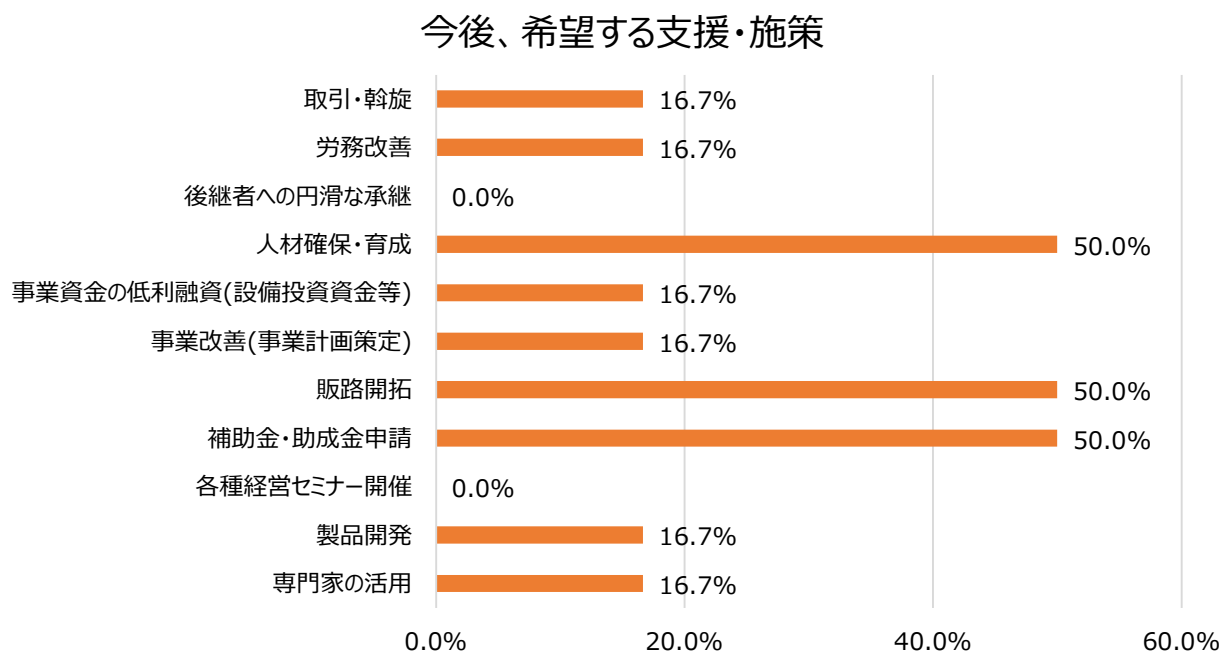
3 今後の製造業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「売上高の確保」が 100%と最も高く、「人材確保・育成」が 50.0%、「合理化・省力化」「新技術・製品開発」が 33.3%、「海外取引の開拓」「人員削減・人件費見直し」「設備投資」が 16.7%と続いている。



4 今、製造業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「人材確保・育成」「販路開拓」「補助金・助成金申請」が 50.0%と最も高く、「取引・斡旋」「労務改善」「事業資金の低利融資（設備投資資金等）」「事業改善（事業計画策定）」「製品開発」「専門家の活用」が 16.7%と続いている。

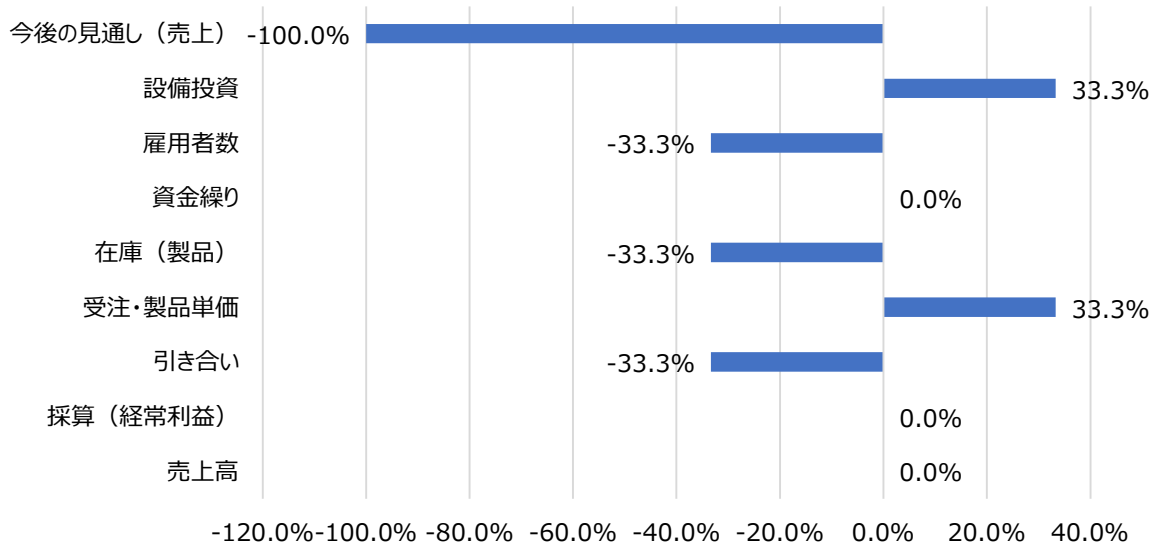


IV 建設業の景況

1 建設業の経営状況の指標

各種 DI をみると、「設備投資」「受注・製品単価」の DI は、今回調査は共に 33.3%となっている。なお「今後の見通し」が▲100.0%、「雇用者数」「在庫（製品）」「引き合い」も▲33.3%とマイナスになっている。

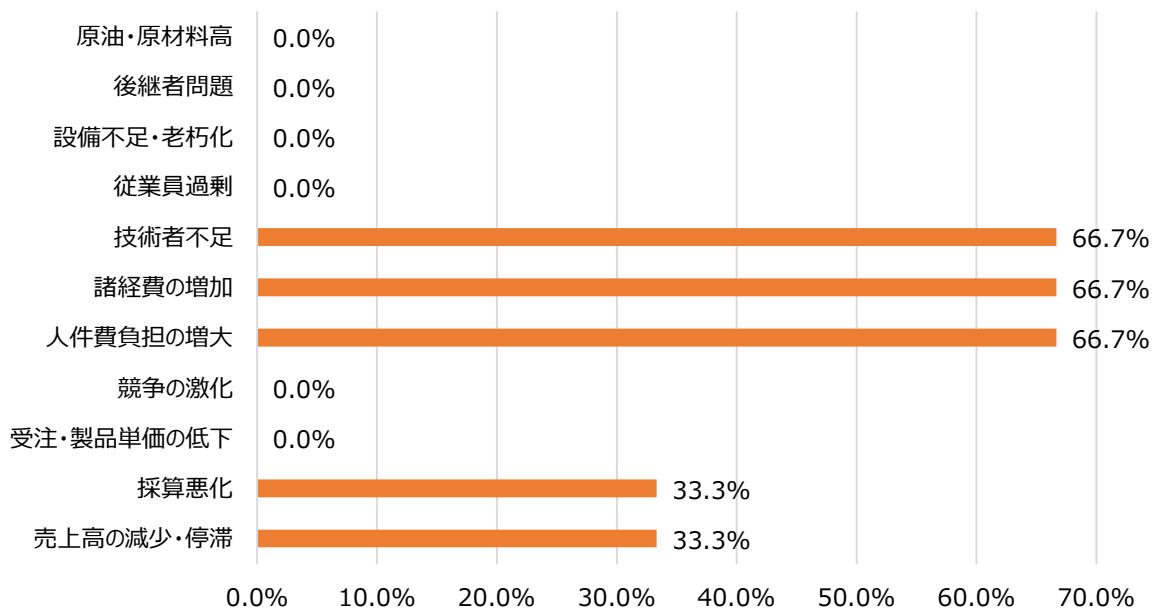
建設業の経営状況の指標



2 建設業の最近の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3つまで)

全体では「技術者不足」「諸経費の増加」「人件費負担の増大」が 66.7%と最も高く、「採算悪化」「売上高の減少・停滞」が 33.3%と続いている。

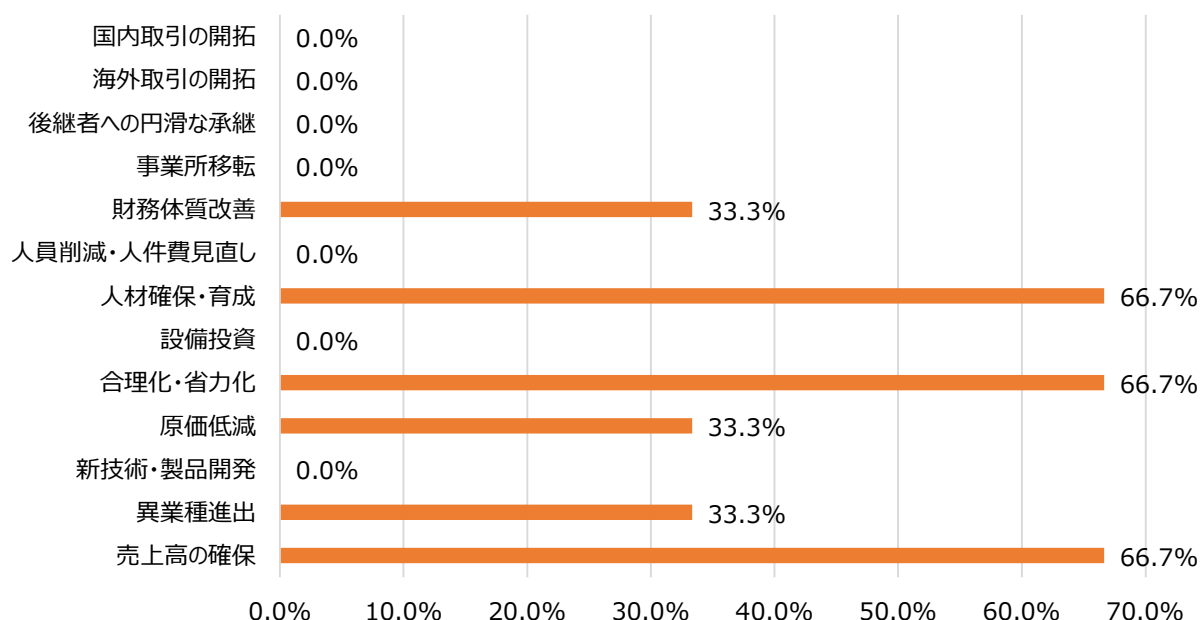
最近の経営上の問題点について



3 今後の建設業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3つまで)

全体では「人材確保・育成」「合理化・省力化」「売上高の確保」が66.7%と最も高く、「財務体質改善」「原価低減」「異業種進出」が33.3%と続いている。

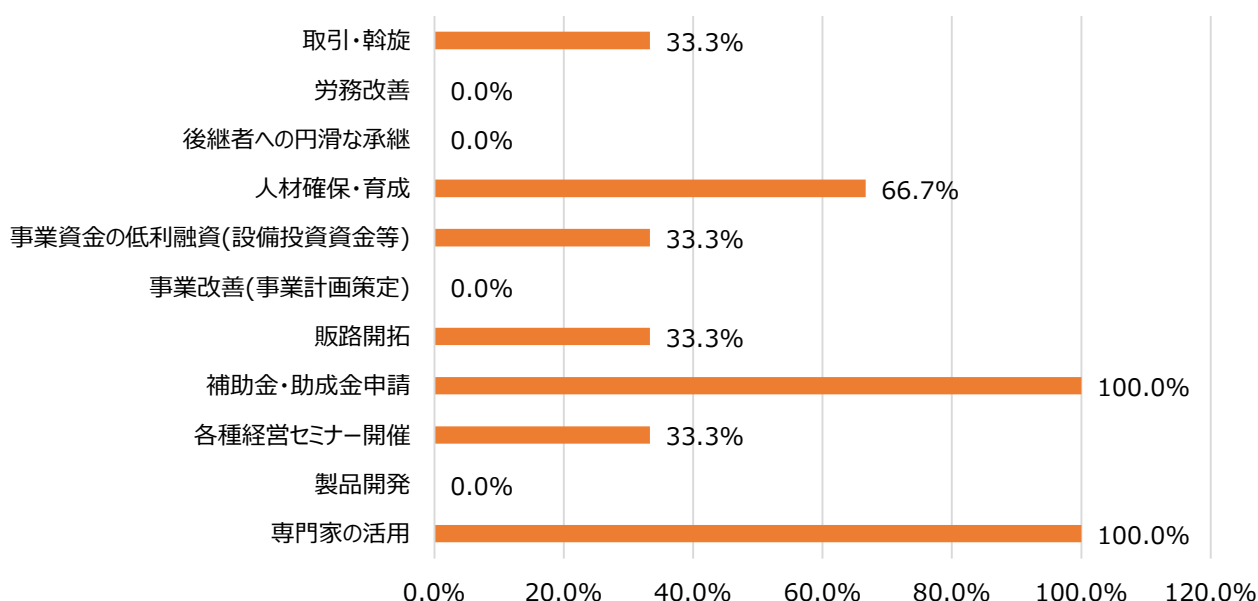
今後の経営課題について



4 今、建設業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「補助金・助成金申請」「専門家の活用」が100.0%と最も高く、「人材確保・育成」が66.7%、「取引・斡旋」「事業資金の低利融資（設備投資資金等）」「販路開拓」「各種経営セミナー開催」が33.3%と続いている。

今後、希望する支援・施策

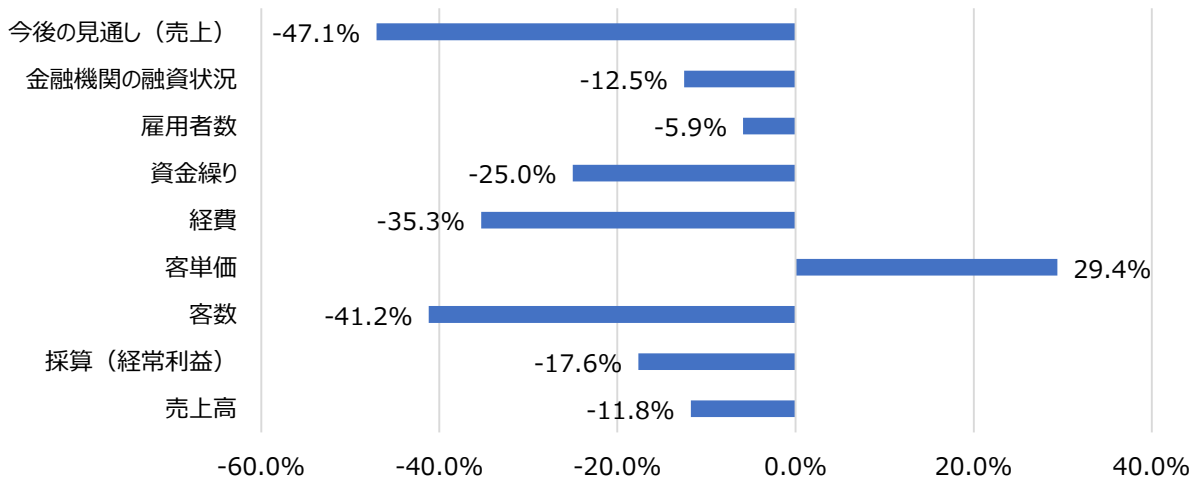


V 小売業の景況

1 小売業の経営状況の指標

各種 DI をみると、「今後の見通し（売上）」の DI が▲47.1%、「客数」が▲41.2%、「経費」▲35.3%となっており、今回唯一のプラスの「客単価」DI は 29.4%であった。

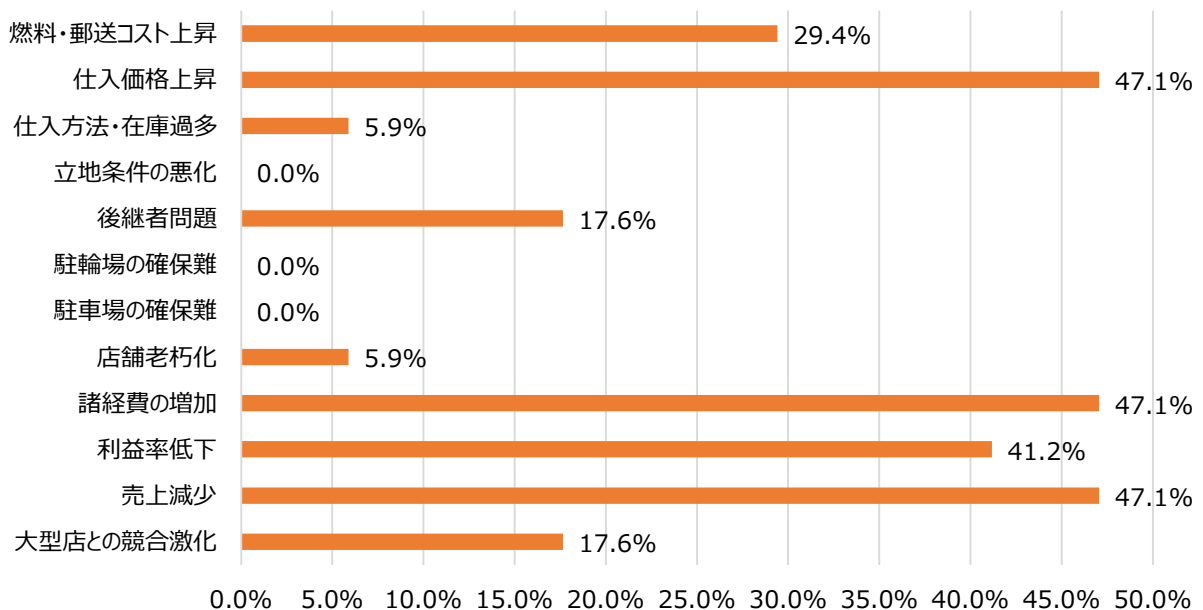
小売業の経営状況の指標



2 最近の小売業の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「仕入価格上昇」「諸経費の増加」「売上減少」が 47.1%と最も高く、次に「利益率低下」が 41.2%、「燃料・郵送コスト上昇」が 29.4%、「後継者問題」「大型店との競合激化」が 17.6%と続いている。

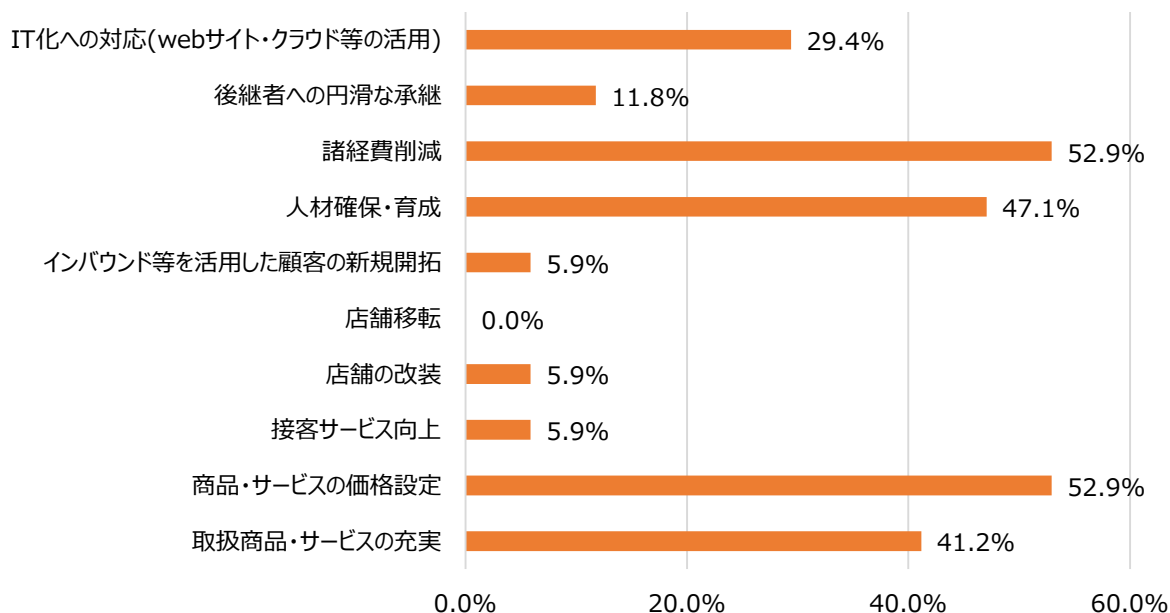
最近の経営上の問題点について



3 今後の小売業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「諸経費削減」「商品・サービスの価格設定」が 52.9%と最も高く、「人材確保・育成」が 47.1%、「取扱商品・サービスの充実」が 41.2%、「IT 化への対応（web サイト・クラウド等の活用）」が 29.4%となっている。

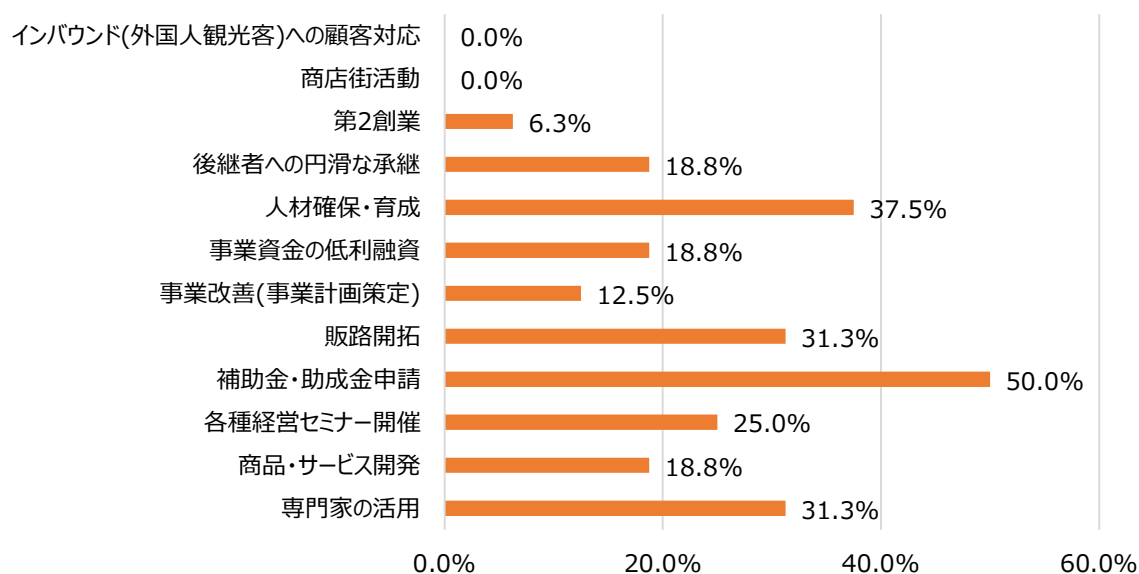
今後の経営課題について



4 今、小売業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「補助金・助成金申請」が 50.0%と最も高く、「人材確保・育成」が 37.5%、「販路開拓」「専門家の活用」が 31.3%と続き、以下様々な支援・施策を必要としている。

今後、希望する支援・施策

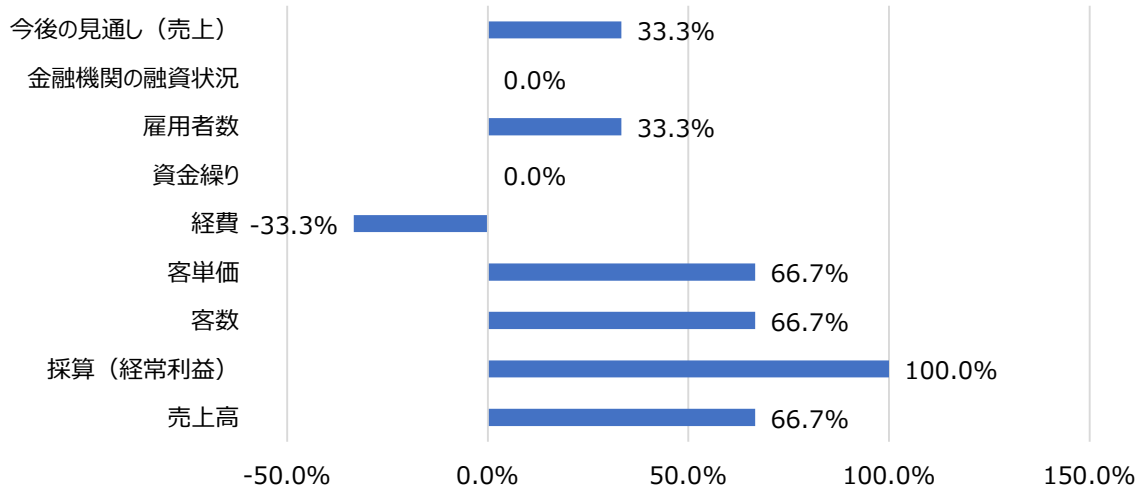


VI 卸売業の景況

1 卸売業の経営状況の指標

各種DIをみると「採算（経常利益）」のDIは今回調査で100%となった。「客単価」「客数」「売上高」のDIは66.7%、「今後の見通し（売上）」「雇用者数」が33.3%と続き、「経費」は唯一マイナスの▲33.3%となっている。

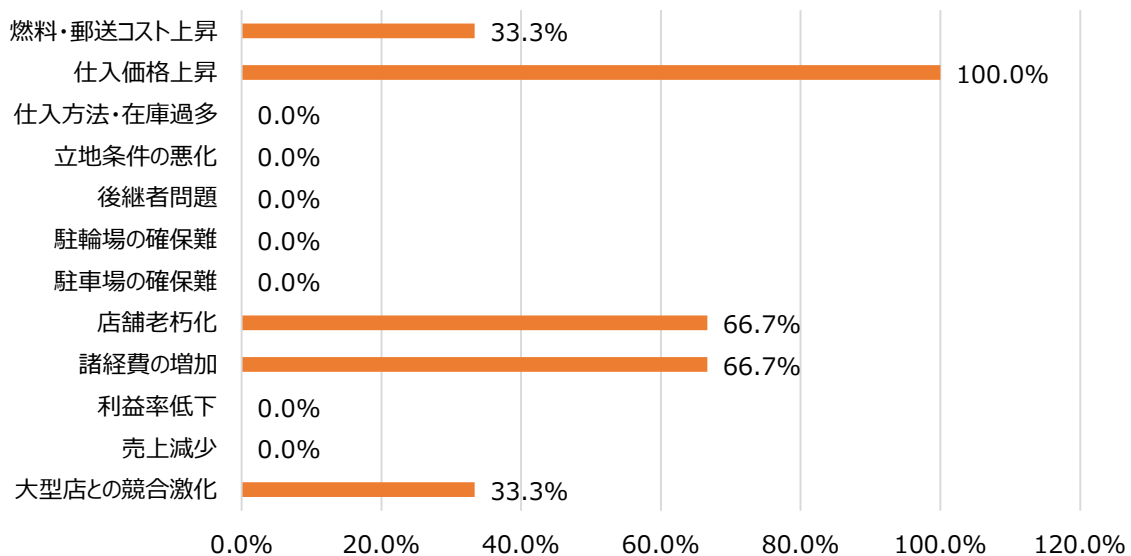
卸売業の経営状況の指標



2 最近の卸売業の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3つまで)

全体では「仕入価格上昇」が100.0%と最も高く、「店舗老朽化」「諸経費の増加」が66.7%、「燃料・郵送コスト上昇」「大型店との競合激化」が33.3%と続いている。

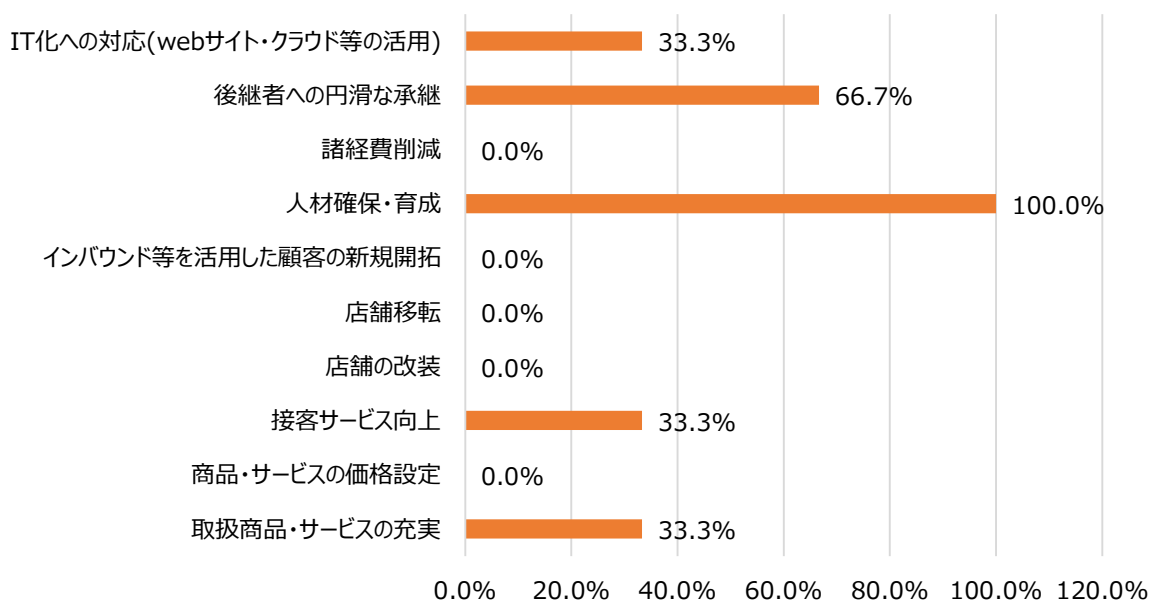
最近の経営上の問題点について



3 今後の卸売業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では、「人材確保・育成」が 100.0%、「後継者への円滑な承継」が 66.7%、「IT 化への対応（web サイト・クラウド等の活用）」「接客サービス向上」「取扱商品・サービスの充実」が 33.3%と続いている。

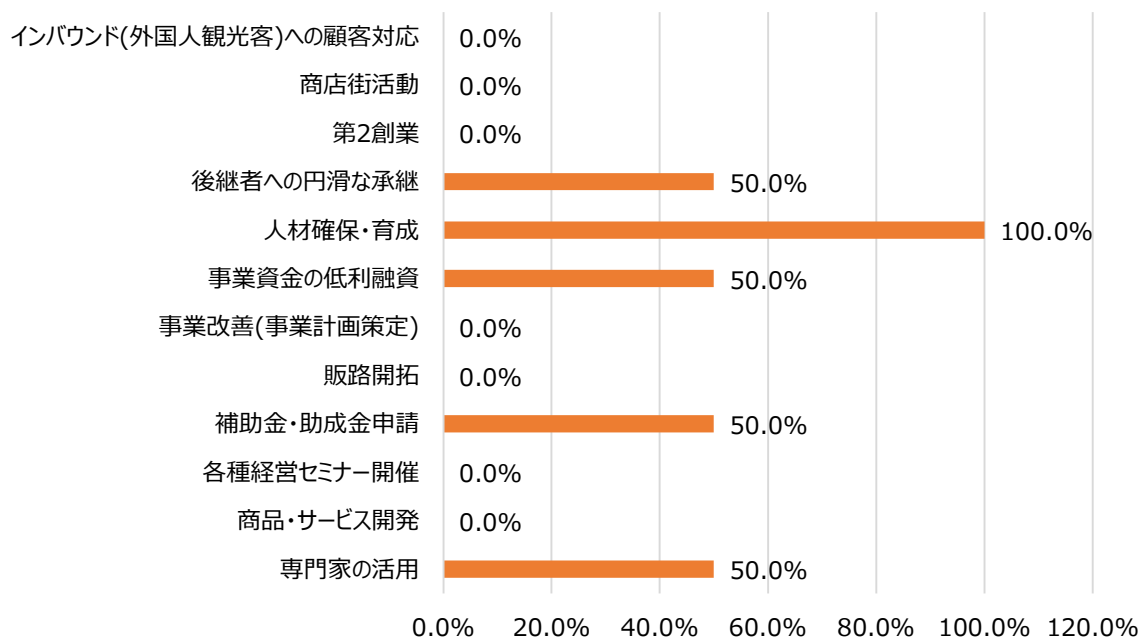
今後の経営課題について



4 今、卸売業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「人材確保・育成」が 100.0%、「後継者への円滑な承継」「事業資金の低利融資」「補助金・助成金申請」「専門家の活用」が 50.0%となっている。

今後、希望する支援・施策

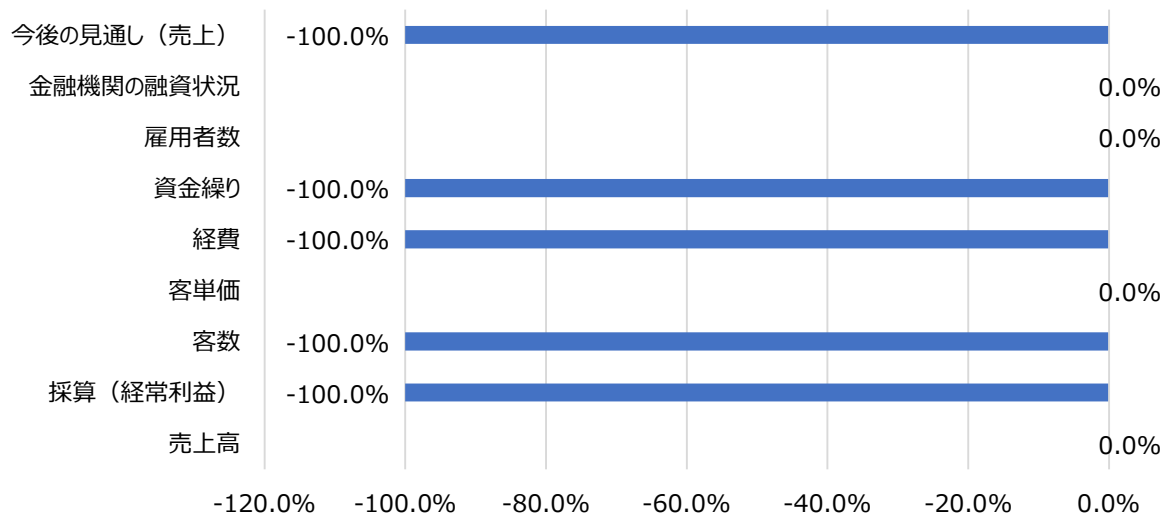


VII 飲食業の景況

1 飲食業の経営状況の指標

各種 DI をみると「今後の見通し（売上）」「資金繰り」「経費」「客数」「採算（経常利益）」の DI は、今回調査は▲100.0%となった。

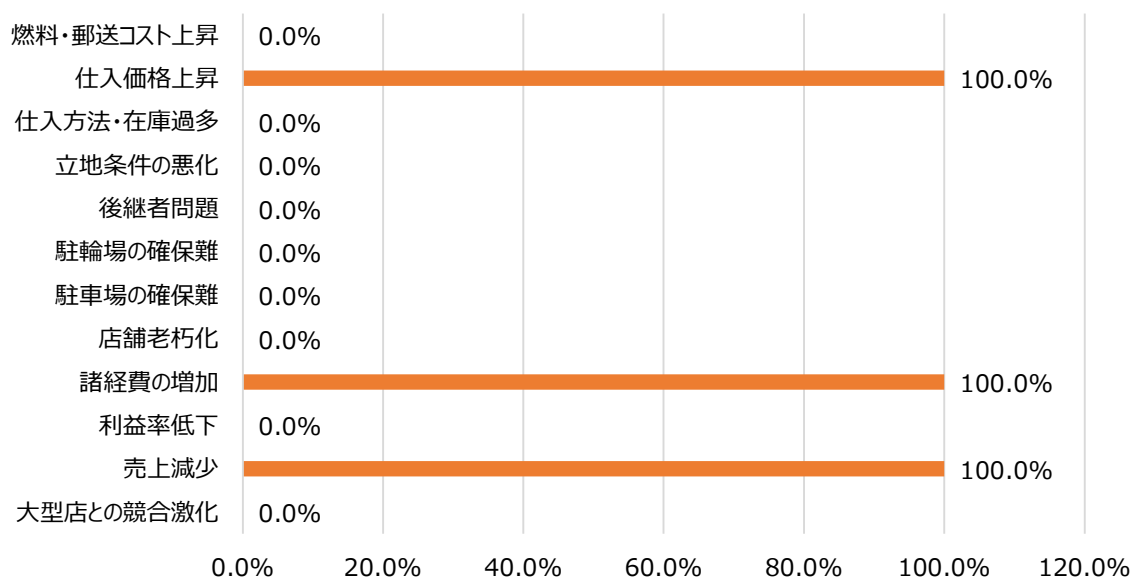
飲食業の経営状況の指標



2 最近の飲食業の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「仕入価格上昇」「諸経費の増加」「売上減少」が 100.0%となっている。

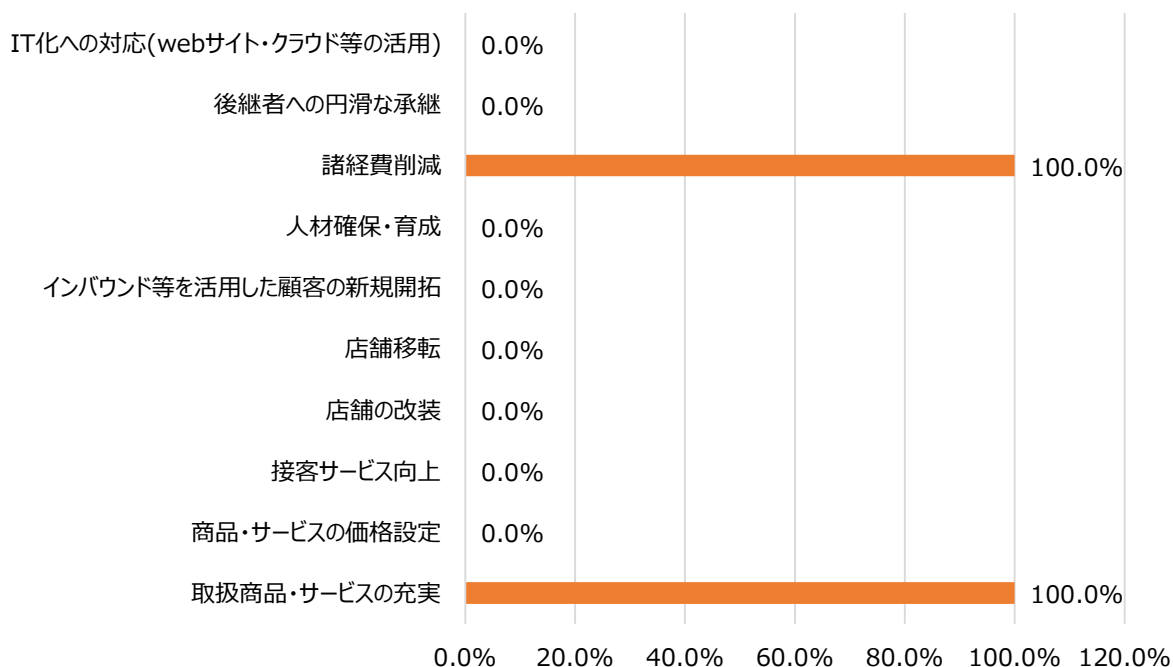
最近の経営上の問題点について



3 今後の飲食業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「諸経費削減」「取扱商品・サービスの充実」が 100.0%となっている。

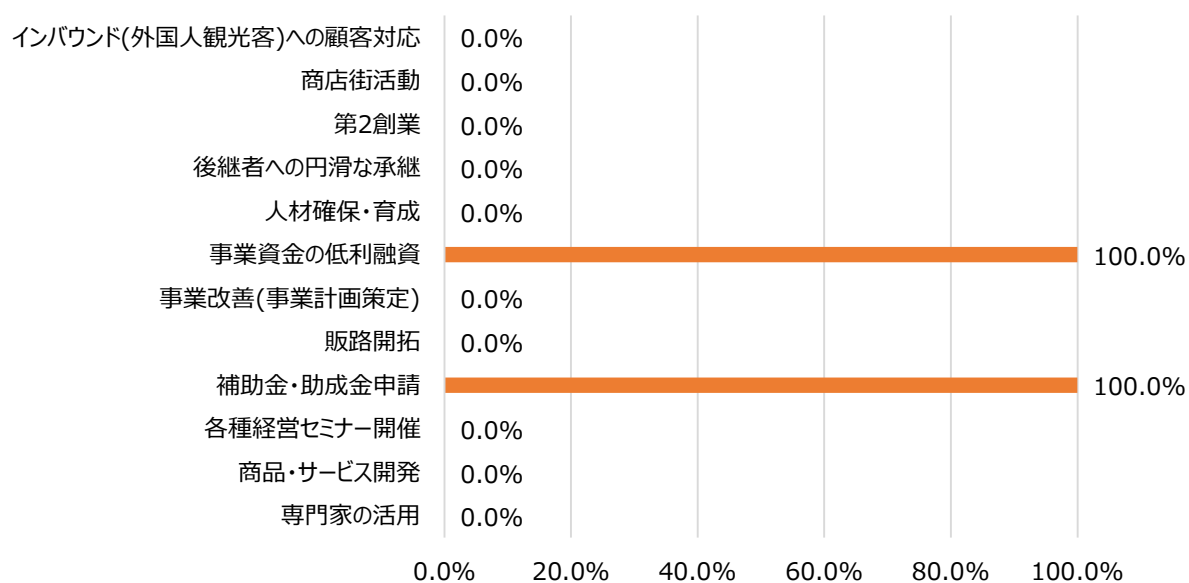
今後の経営課題について



4 今、飲食業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「事業資金の低利融資」「補助金・助成金申請」が 100.0%となっている。

今後、希望する支援・施策

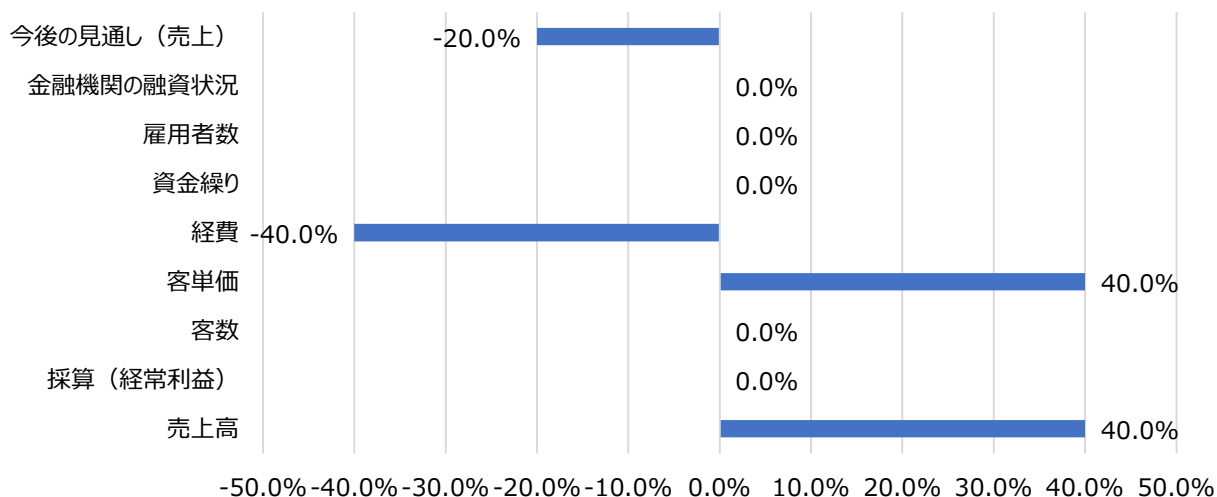


VIII サービス業の景況

1 サービス業の経営状況の指標

各種 DI をみると「客単価」「売上高」の DI は今回調査では共に 40.0%となっており、「経費」の DI は▲40.0%、「今後の見通し（売上）」の DI も▲20.0%とマイナスになっている。

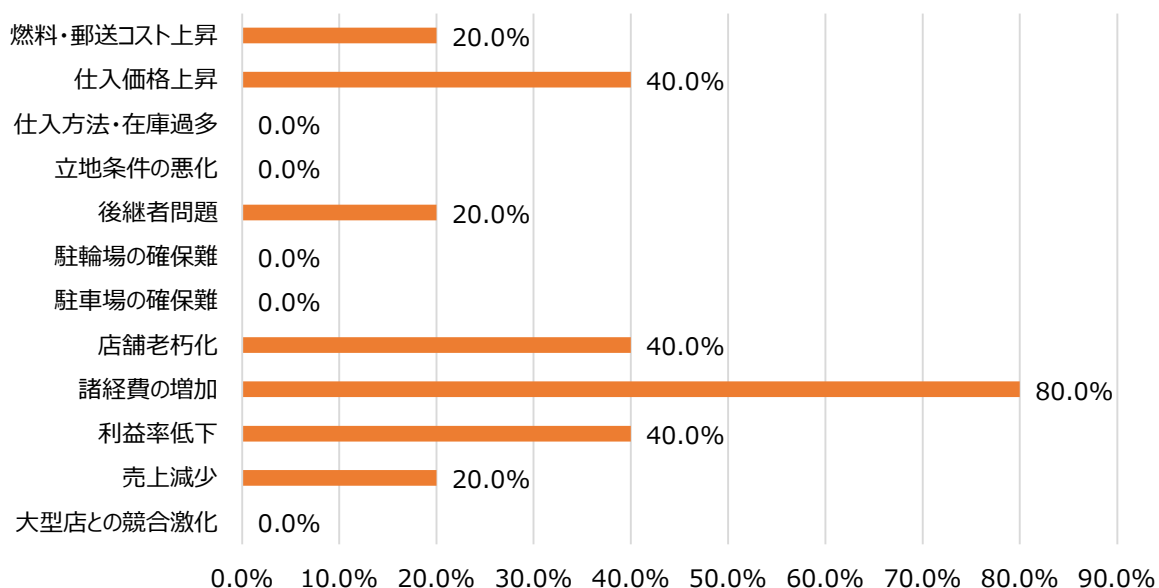
サービス業の経営状況の指標



2 最近のサービス業の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「諸経費の増加」が 80.0%と最も高く、「仕入価格上昇」「店舗老朽化」「利益率低下」が 40.0%、「燃料・郵送コスト上昇」「後継者問題」「売上減少」が 20.0%と続いている。

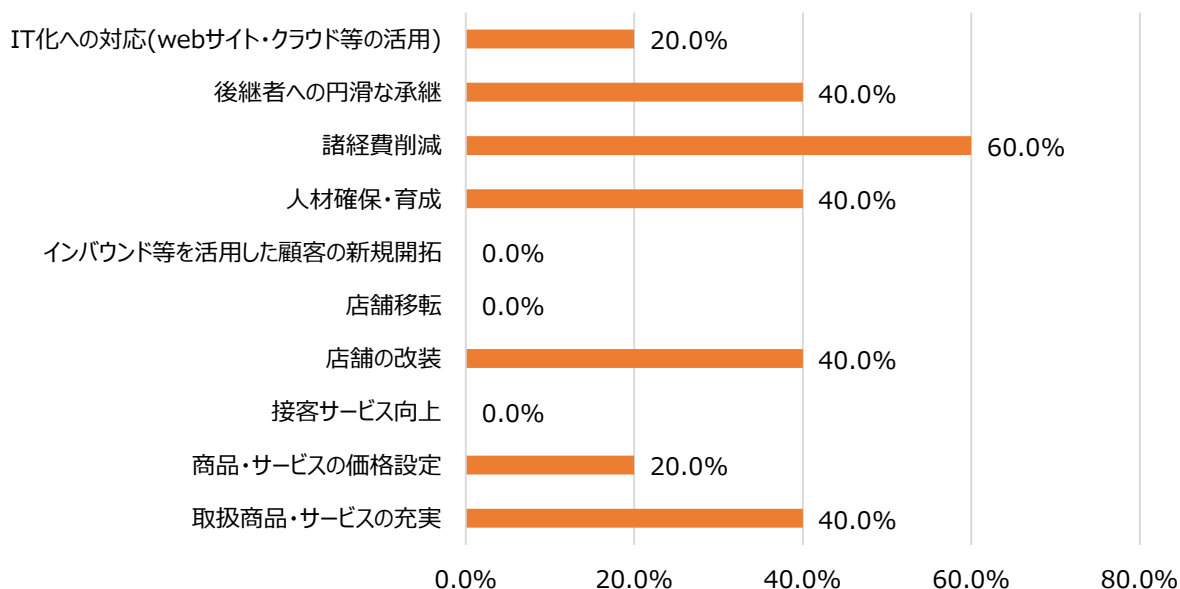
最近の経営上の問題点について



3 今後のサービス業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「諸経費削減」が 60.0%と最も高く、「後継者への円滑な承継」「人材確保・育成」「店舗の改装」「取扱商品・サービスの充実」が 40.0%、「IT 化への対応（WEB サイト・クラウド等の活用）」「商品・サービスの価格設定」が 20.0%と続いている。

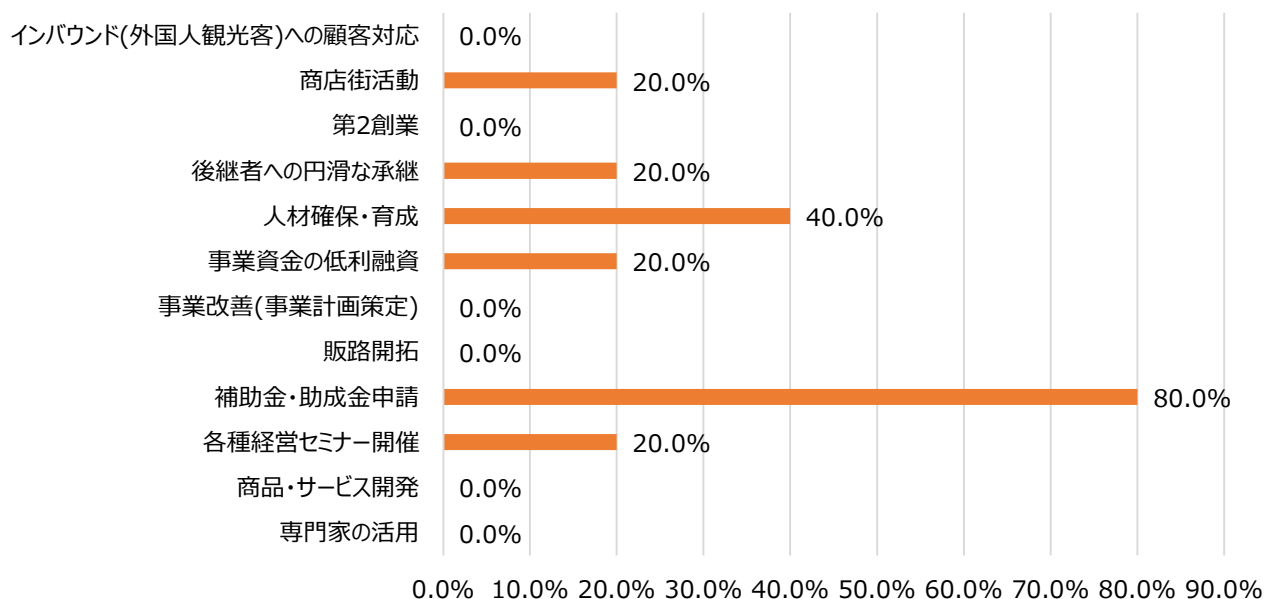
今後の経営課題について



4 今、サービス業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「補助金・助成金申請」が 80.0%と最も高く、「人材確保・育成」が 40.0%、「商店街活動」「後継者への円滑な承継」「事業資金の低利融資」「各種経営セミナー開催」が 20.0%と続いている。

今後、希望する支援・施策

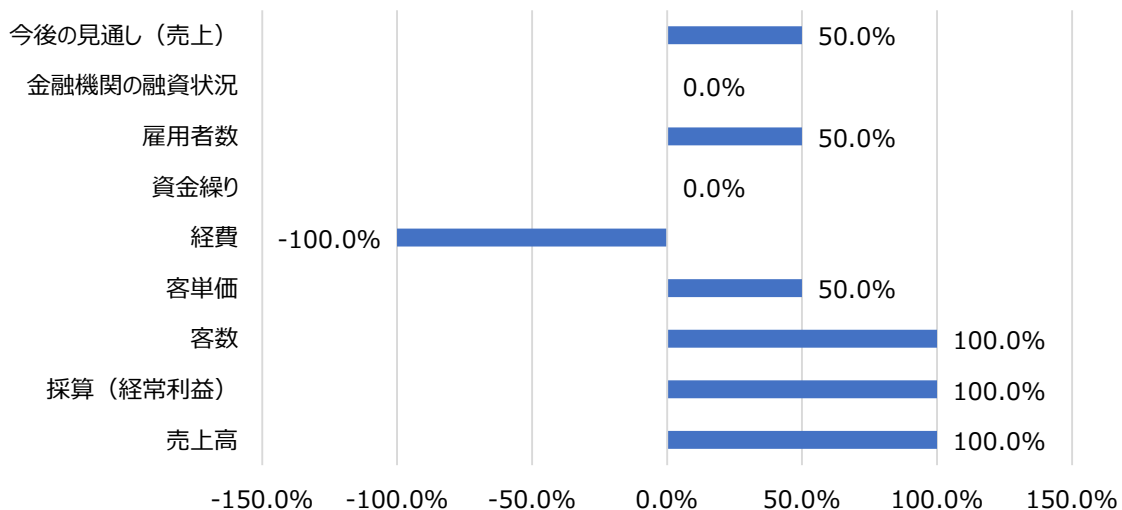


IX 観光業の景況

1 観光業の経営状況の指標

各種 DI をみると「客数」「採算（経常利益）」「売上高」の DI は、今回調査は 100.0%となった。「今後の見通し（売上）」「雇用者数」「客単価」の DI は 50.0%となり、「経費」の DI は唯一マイナスの▲100.0%となった。

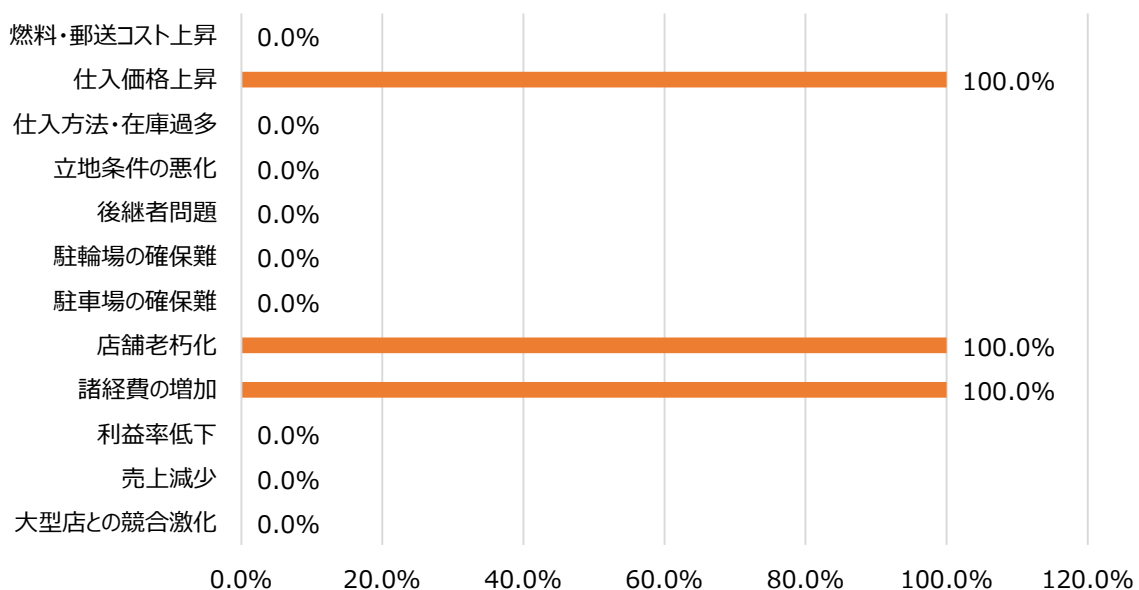
観光業の経営状況の指標



2 最近の観光業の経営上の問題点について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「仕入価格上昇」「店舗老朽化」「諸経費の増加」が 100.0%となっている。

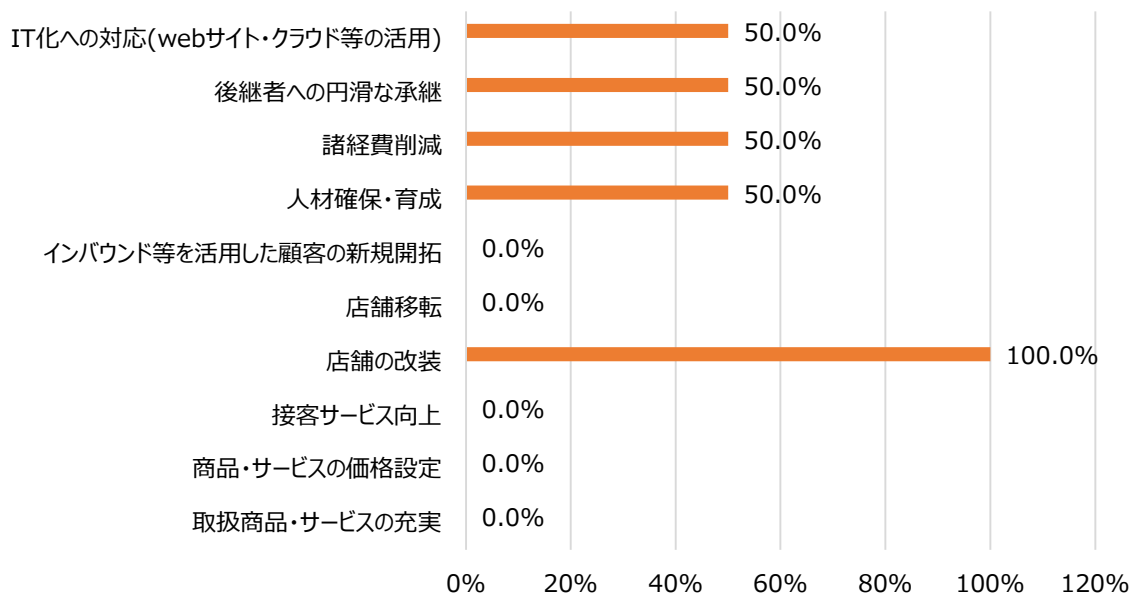
最近の経営上の問題点について



3 今後の観光業の経営課題について、影響度合いが大きいと思われるもの(3 つまで)

全体では「店舗の改装」が 100.0%と最も高く、「IT 化への対応（web サイト・クラウド等の活用）」「後継者への円滑な承継」「諸経費削減」「人材確保・育成」が 50.0%と続いている。

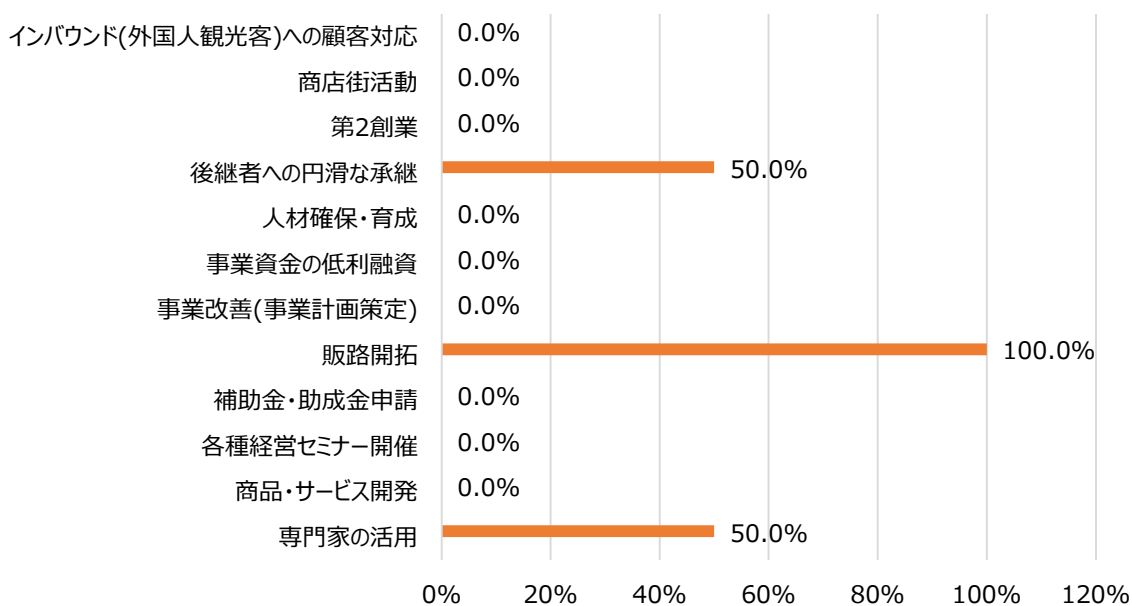
今後の経営課題について



4 今、観光業が必要としている支援・施策(いくつでも)

全体では「販路開拓」が 100.0%と最も高く、「後継者への円滑な承継」「専門家の活用」が 50.0%と続いている。

今後、希望する支援・施策

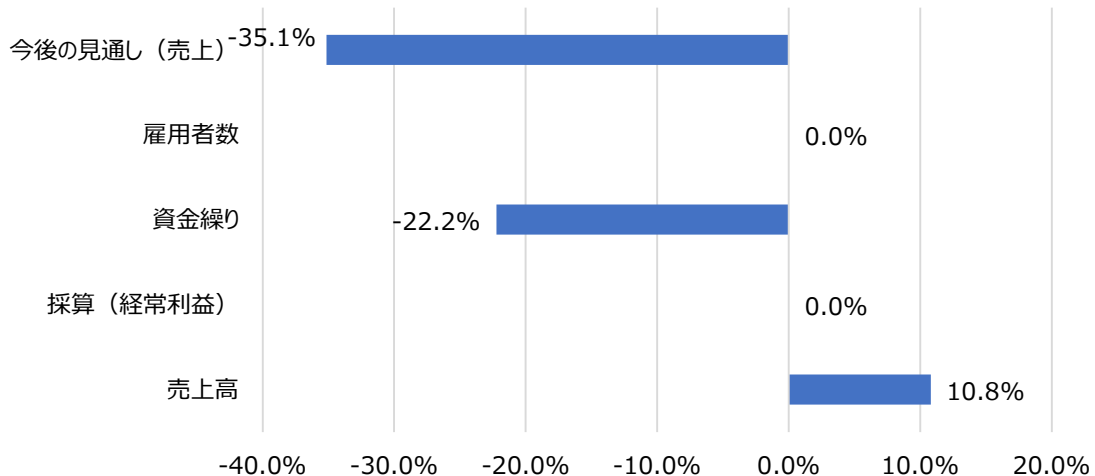


まとめ

1 景気動向の概要

館山市の全業種の景気動向をみると「今後の見通し（売上）」のDIは▲35.1%、「資金繰り」▲22.2%となっており、「売上高」のDIのみプラスの10.8%となっている。

全業種の経営状況の指標（館山市）

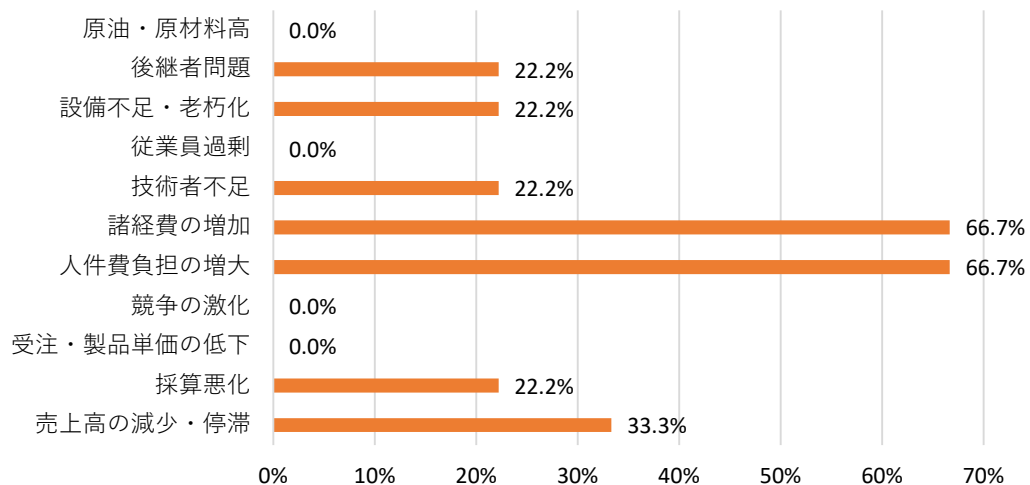


業種別にみると「卸売業」「サービス業」「観光業」で売上高DIがプラス、「製造業」「建設業」「飲食業」がプラスマイナスゼロ、「小売業」が唯一マイナスとなっている。また、採算DIは「卸売業」「観光業」がプラスで、「建設業」「サービス業」がプラスマイナスゼロ、「製造業」「小売業」「飲食業」でマイナスとなっている。

2 最近の経営上の問題点

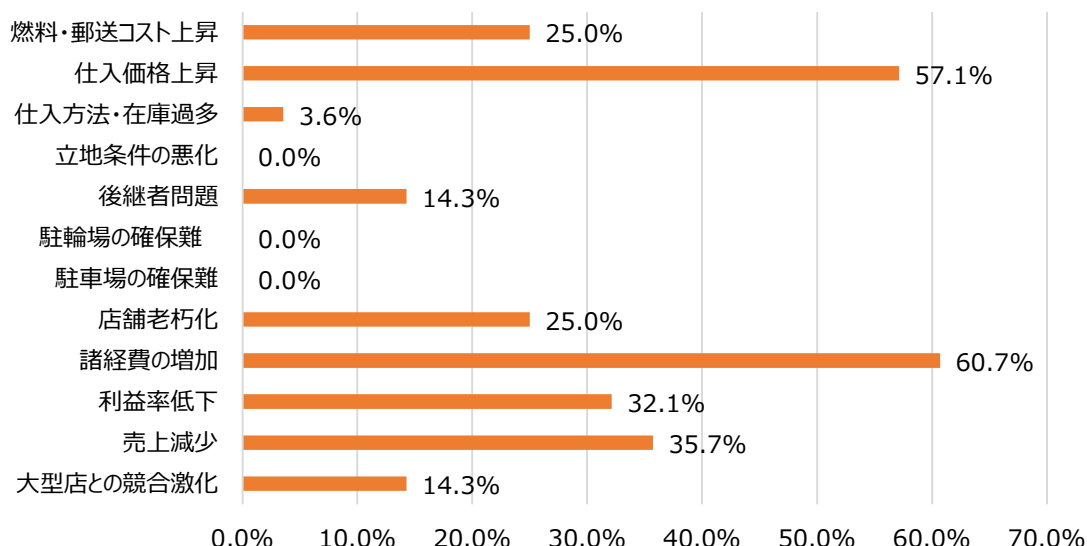
工業関連企業（製造業・建設業）の経営上の問題点をみると、「諸経費の増加」「人件費負担の増大」の割合が高く、66.7%となっている。

最近の経営上の問題点について



また、商業関連企業（小売業・卸売業・飲食業・サービス業・観光業）の経営上の問題点をみると、「諸経費の増加」が60.7%と最も高くなっており、「仕入価格上昇」が57.1%と続いている。

最近の経営上の問題点について



3 今後の経営課題

工業関連企業の経営課題をみると、製造業は「売上高の確保」が100.0%、「人材確保・育成」が50.0%となっている。建設業でも「人材育成・確保」「合理化・省力化」「売上高の確保」の3つのDIが最も高い66.7%となっており、工業関連企業では課題が重なる部分がある。

また、商業関連企業の経営課題をみると、小売業は「諸経費削減」「商品・サービスの価格設定」、卸売業は「人材確保・育成」、飲食業は「諸経費削減」「取扱商品・サービスの充実」、サービス業は「諸経費削減」、観光業は「店舗の改装」がそれぞれ最も高く、商業関連の各企業で「人材確保・育成」「諸経費削減」が共通の課題となっている。

本市は全国的に見ても高齢化率が高く、労働人口は年々減少し深刻な人手不足を引き起こし、各産業において人材の確保や生産性の向上が共通の課題となっている。課題解決のためには人材確保と、定着率の向上が可能な組織を整備していくことが大切である。

また、人手不足であろうとも生産性を向上させるため、自動化やデジタル化を行っていくことも重要である。今後は「人材募集・職場環境の整備」や「業務のデジタル化・AI導入」などをテーマとしたセミナーを開催するなどの支援を行うことが必要であると考えられる。

4 必要としている支援・施策

工業関連企業の必要としている支援・施策をみると、製造業で「人材確保・育成」「販路開拓」「補助金・助成金申請」、建設業で「補助金・助成金申請」「専門家の活用」がそれぞれ最も高くなっている。

商業関連企業の必要としている支援・施策では、小売業で「補助金・助成金申請」、卸売業で「人材確保・育成」、飲食業で「事業資金の低利融資」「補助金・助成金申請」、サービス業で「補助金・助成金申請」、観光業で「販路開拓」が最も高くなっている。

※なお、より精度の高い調査とするため、回答が少ない業種については、今後調査企業数を増やす方針である。